

4 学校における子ども読書活動の推進

子どもと保護者への取り組みの充実

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
75	子どもの読書活動への取り組み	子どもが主体となって読書の豊かさ・楽しさを体験し、伝え合う催しを学校・関連機関・団体が連携して行う。	継続	○			図書委員会が主催した「本のさし絵コンテスト」応募作品、図書委員会だより壁新聞、「絶滅動物新聞」など授業、図書委員会活動などで作成した児童生徒の作品を地域の公共図書館に掲示し、地域への情報発信を行った。	小・中学校教育推進室 小中学校チーム 市立図書館
76	読書教育の推進	授業をはじめとした学校教育活動の中に読書を位置づけて取り組みを進める。	継続	○			各教科や「朝の読書」などで教員と学校図書館専任職員(以下、学校司書)など学校図書館担当者が協力して、読書の楽しさを知る学習をした。 また各教科や「総合的な学習の時間」などの授業の中で、学習内容や児童生徒の興味関心に沿って、関連した本の紹介やリストの作成、ブックトーク、読み聞かせなどにより、学習を深めた。 読書教育についての年間計画や、体系的な積み上げを図っている学校もあった。 地域ボランティアや保護者などの協力を得て、読み聞かせを行っている学校もあった。	小・中学校教育推進室 小中学校チーム
77	読書教育の推進	読みたい本を自由に読む読書活動を教育活動の一環として位置づけ、子どもの主体的な読書につながるよう取り組みを行う。	継続	○	オリエンテーション 実施校数	全校	年度始めなどに学校図書館でオリエンテーションを実施し、図書館の意義や使い方の学習をした。 児童生徒が読みたい本を読めるよう、リクエスト制度やレファレンスサービスなど図書館サービスを伝えた。 月曜から金曜まで毎日図書館を開館し、「図書の日」や休み時間、そして放課後に貸出を行った。 校内の本で足りない場合は週1回の物流便により公共図書館や市内他校の協力を得た。 生涯学習を見据え、公共図書館の利用を薦め、公共図書館の蔵書検索方法について、コンピュータを使って体験する機会を持った。	小・中学校教育推進室 小中学校チーム
78	読書活動の推進	学校での読書会など、自分と友だちとの共感や感じ方の違いを体感し、本への興味が持てるような機会をつくる。図書館便りや季節や行事、授業に関連したテーマ展示等を実施し、読書活動を支援する環境をつくる。テーマ別に本の紹介リストを作成する。	継続	○	図書館 だよりの 発行	随時	児童生徒が、図書委員会活動や自主的な活動の中で、本の紹介や読み聞かせ、おはなし会などを企画実施したり、授業の中でおすすめの本を紹介しあったり、互いの感想を交流する機会を持った。 読書週間、図書館まつり、読書郵便、読書ノート、本の帯やポップの作成、映画上映会、本のさし絵、しおりコンテスト、読書感想文コンクールの取り組み、教員・児童生徒によるおすすめ本紹介冊子、ポスターなど、各校工夫した取り組みを行った。 図書委員会を中心に読書会を行った。 図書館だよりの発行、図書委員会だよりの発行、授業・時事問題・季節などに関連したテーマ展示、リストの作成を日常的に行なった。	小・中学校
<p><読書週間での取り組み*ブックウォークにチャレンジして思ったこと> ・自分の目標に届かなかったけど、がんばりました。でも、楽しかったです。(小1)・本と友だちのようでも楽しかったです。(小1)・星の図鑑を一冊読むのは、すごく難しいです。(小3)・本を読むのに目標を決めて読むとたくさん読めました。(小6) <図書館まつり*参加して思ったこと> ・もっと図書館のイベントがあったらいいな。(小1)・本の名前当てクイズとか、楽しかった。(小5) <登場人物の部屋を想像して書く*掲示を見た人から> ・「この本知ってる」「この本、昔読んだ」など、作品を通して子ども同士がつながっていく様子がみられた。 <本のさし絵コンテスト> ・自分たちの考えた企画がうまくいったらうれしいし、本のPRになる。展示を工夫したり、表彰状を自作したりして達成感があった。(図書委員)・参加するのも楽しいし、作品をみんなに見てもらえるのがとてもうれしいです。(参加者)</p>								

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
79	小学校・中学校の連携	子どもが主体となって読書の豊かさ・楽しさを体験し、伝え合う催しを小学校・中学校が連携して行う。公共図書館と紙芝居ボランティアからの指導により、地域との連携をすすめる。	新規	○			職場体験活動、ボランティア体験学習、図書委員会活動の一環として、中学生が小学校や地域の公共図書館で絵本の読み聞かせや紙芝居を行い、その中で児童生徒の交流ができた。 学校司書連絡会・公共図書館との地域交流会で、小中学校間での図書館だよりの交換や情報交流を行った。 小学校で6年生に向けて、中学校図書館の紹介を行った。	小・中学校
80	読書相談とレファレンスサービスの充実	子どもが読みたい本や知りたいことを見つけられるよう取り組みを充実する。	新規	○		随時	学校司書がブックリストやレファレンスシート、パスファインダー、ライブラリーナビを作成するなどして、児童生徒が読みたい本や知りたいことを見つけられるよう取り組みを充実させた。 学校図書館の掲示板や図書館だよりなどでリクエストの周知を図り、読書相談をしやすい雰囲気づくりに努めた。	小・中学校
81	保護者への取り組み	保護者に対して、子どもの読書の大切さを伝える。	継続	○		随時	保護者への働きかけとして、図書館だよりや保護者向けのたよりなどで、「子どもの読書の大切さ」や新着本情報、学校図書館の状況や活動が伝わるように工夫した。	教育推進室 小中学校 チーム 市立図書館 小・中学校

子どもの本や読書に関する情報提供

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
82	情報交流	地域で学校や市立図書館、読み聞かせボランティアが子どもや読書に関する情報を共有し、子どもの読書活動を推進する。	継続	○	「子どもと本をつなぐ地域交流会」の回数 3回(会場は2カ所) 67人		地域ボランティアや豊中市人材バンクによる読み聞かせ、お話し会、ワークショップなどを実施している学校では、情報交換が行われた。 各市立図書館と地域の小中学校の司書による交流会を持ち、情報交換を行った。 また子ども読書活動推進計画第1期実施計画の区切りということで、市内の子どもや読書に関わる施設見学を交流会に取り入れた。小中学校の学校図書館およびすこやかプラザ内の保健センターや社会福祉協議会、すてっぷ、国際交流協会などの施設見学の後、情報共有の機会をもって、交流を深めた。	教育推進室 小中学校 チーム 市立図書館 小・中学校

読書環境の整備

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
83	図書費の確保	豊かな読書活動と充実した学びを保障するため、学校図書館図書整備費などをふまえ、学校図書館図書標準の達成率を高め、図書費の確保等、資料整備を進める。	継続	○	図書購入予算	当初予算 小学校 2,734万円 中学校 1,566万円 幼稚園 154万円	厳しい財政状況の中、前年度と同基準の予算を確保した。しかし、義務教育施設の耐震性確保といった安心・安全に対する喫緊の課題への対応などにより、困難が予想されるが同水準の予算確保につとめたい。	○学校施設管理チーム 総務チーム 教育推進室 小中学校チーム
84	図書館の改修	学校図書館を学校の中の魅力ある場として、財政状況や校舎の改築・改修の時期等を総合的に考え、整備を進める。	継続	○			学校図書館の整備については2教室を1教室にする工事が伴い、1校あたり1,500万円～1,900万円程度かかり、さらに耐震補強も必要なため予算の確保は困難と思われるが、財政状況を考慮しながら整備していきたい。	学校施設管理チーム
85	蔵書管理システムの研究	学校及び市立図書館の蔵書を効果的に活用するため、関係機関が連携した研究を進める。	継続	○			導入にかかわる必要経費の資料収集を行った。ブックラネット事業を立ち上げ、プロジェクトチームで事業の概念設計に取り組む中で、学校司書などの意見を聞きながら蔵書管理システムについても研究を進めている。	○教育推進室 小中学校チーム 読書振興課 教育センター
86	学校図書館資料運搬システムの効果的運用	学校図書館・市立図書館間における資料運搬システムの効果的な運用に向けて研究を進める。	継続	○			週1回の稼働がより効果的に運用できるよう市立図書館と共に研究を進める。	○教育推進室 小中学校チーム 読書振興課

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
87	学校・市立図書館連絡会(地域館交流会)	子どもの読書活動と学習活動の充実に向け、学校・市立図書館間で資料活用状況等に関する交流(情報交換や研修)の場を定期的に設ける。 [151にも掲載しています。]	継続	○	会合/研修回数	8回	義務教育課を通じて、市立図書館の関係者と担当する地域の小学校・中学校の学校司書と会合を持った。図書館の資料を活用した授業の様子や学校図書館の取組みなど、学校における子どもの読書に関する情報交換とともに図書館における地域の子どもの読書に関する情報交換を行った。	小・中学校 教育推進室 小中学校チーム 読書振興課 市立図書館

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
88	中学生・高校生による読み聞かせボランティアへの指導・支援	中学生・高校生による読み聞かせボランティアに絵本の選び方や読み聞かせについての指導を行い、活動場所を提供するなどの支援を行う。 [15、68、154をご参照ください]	継続	○			職場体験活動、委員会活動の一環として、中学生が近隣の保育所や幼稚園、小学校で絵本の読み聞かせを行った。	教育推進室 小中学校チーム 市立図書館 おはなしボランティアポケット
89	「学校における読み聞かせボランティアバックアップ講座」	学校で読み聞かせを行っているボランティアに対し、講座を実施するなど継続的な支援を行なう。	継続	○	バックアップ講座の回数 / 参加人数	3回 42人	学校で活動する読み聞かせボランティアを対象に読み聞かせやボランティア活動についての内容で講座を行った。各公共図書館でサービスエリア内の学校へ呼び掛けたり、活動するグループから依頼を受けて実施した。資料に関する情報提供、団体貸出の方法についてお伝えする場となっている。	市立図書館
<p>「基本的な本の読み方等がわかり役にたった。」「特に高学年向けの読み聞かせの話は参考になった。」「読み聞かせのグループに入ったばかりなので、初心者的心得を同席した方からも知る事ができ良かった。」「いろんな本を紹介してもらって良かった。」</p>								

子どもに関わる大人への啓発と研修

NO.	事業名	取組の内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
90	管理職研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」を周知し、教育課程上における学校図書館活用の必要性・有効性に関して研修を行う。	継続	○	回数	2回	教職員(管理職、学校図書館担当教員、学校司書)対象の研修を年2回行った。また、各校において学校図書館の活用に関する研修も行われた。	教育推進室 小中学校チーム
91	教職員への啓発・研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」の内容について教職員に周知する。また、夏休みを利用して、教職員向けに図書館見学や図書館・図書館資料の効果的な活用等の研修を行う。 〔156をご参照ください。〕	継続	○		随時	「豊中市子ども読書活動推進計画」の内容をさらに広めていく。また、夏休みなどに校内研修を行い、学校図書館の現状、学校図書館の機能や役割、図書館を使った授業例などについて話し合った。	読書振興課 小・中学校教育推進室 小中学校チーム
92	学校図書館教育担当者(司書教諭)研修	学習指導方法の工夫改善と学校図書館の効果的な活用に関する研修を行い、相互交流・情報交換の場を持つ。	継続	○	回数	2回	年2回、研修会を開催し、講演会や市立図書館でのワークショップを行った。	教育推進室 小中学校チーム
93	学校司書研修	学校教育における効果的な読書並びに学習活動への支援に関する研修を行う。	継続	○	回数	12回	学校図書館専任職員の連絡会を実施し、小中部会ごとに各校の取組みの交流等を行った。また、教育委員会、学校現場から講師を招き研修会も行った。	教育推進室 小中学校チーム

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
追加	とよなかブックプラネット事業	学校図書館の「読書センター」及び「学習・情報センター」機能向上をめざし、多様な読書活動の取組みを一層普及・定着させるとともに、言語活動の充実や、授業改善など教育活動の充実を図る。	新規	○			これまでの取組みの成果と課題を整理するとともに、学校現場のニーズを調査し、他市の先進事例も参考にしながら、「学校図書館の役割とめざす姿」を明確にした。今後の具体的な施策展開に繋がる事業の概念設計をすることができた。	読書振興課 教育推進室 小中学校チーム